

平成 26 年 度

# 旭丘中 学校便り

第 10 号

練馬区立旭丘中学校：発行 2月

立春を迎えて

校長 山谷 安雄

2月4日が立春、3日が節分です。季節の分かれ目で節分と言うそうです。立春、立夏、立秋、立冬と四つの季節があります。節分も4回ありますが、慣例で立春の節分だけ豆をまきます。豆をまく理由は、季節の分かれ目には、邪気つまり悪いこと（鬼）がいるから、それを退散させるためだそうです。「鬼は外、福は内」この「鬼は外」という言葉、私はあまり好きになれません。少し変わった考えだと思って聞いてください。「日本人はリスクを取らない。」と言われていました。いやなこと、自分にとって不利益なことは、外に出して解決という考え方に通じるからです。例を出すのが難しいですが、社会にとって絶対必要なものだけど、近くにあると困るもの、清掃工場・火葬場、近頃は、学校も出てくるそうです。学校は、放送がうるさい、子供がやかましい、校庭からボールが飛んできて危ない。学校は必要です。しかし、隣は困る。遠すぎると自分の子供が通うようになった場合に困る。こんな時、適当な距離に建ててくれたら、ラッキーと思って終わり。社会がそれを必要としたときは、全員で考えることが大事です。むかし、こんなことがありました。ある区で清掃工場を建てようとしたとき地域住民が反対したそうです。臭いし、車も多く走るようになり危ないし、そんなものは、区の外に作れば良いという考え方です。しかし、清掃工場は必要です。そのとき、何が起こったかという、その地域のゴミを処分していた清掃工場の近隣の人たちが怒って、その反対している区から出るゴミを実力で阻止したそうです。すると、その反対している区のゴミは、道路に山積みになって、町中がゴミだらけになりました。テレビのニュースで放映されました。住民たちは、これではいけないと思い、話し合いで、清掃工場を作ることに同意しました。

身近に結構似たようなことはあります。鬼は外だけでいいのか、少し観点が違うかもしれませんが、考える必要があります。

さて、2年生は、スキー移動教室に大きな事故もなく、雪の予報でしたが、予定通り2/6に帰校しました。3年生は、1月末から推薦入試を皮切りに、都立の一般入試が24日になっています。日本の年度が4月スタートで、寒い時期に受験になってしまいます。日本人に取っては、一つの試練の様な気がします。厳冬の季節から希望溢れる春を全員が笑顔で迎えて欲しいものです。

《生徒の活動の様子》

・生徒作品展 1/10(土)～ 練馬区立美術館で開かれました。  
美術、家庭、技術、  
特別支援学級の生徒の作品が展示されました。

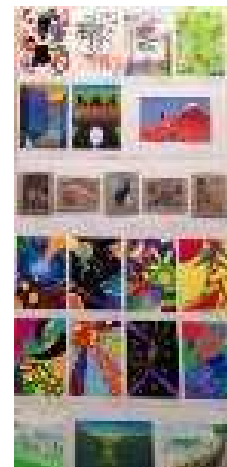
【D組・陶芸作品】



【カルタ会の様子】



【美術作品】



・カルタ会 1/21(水) 青少年育成桜台地区の主催でカルタ会を本校の体育館で開きました。

・連合ダンス発表会 1/27(火) 練馬文化センター大ホールで開かれました。2年B組の女子が代表として、出場しました。「おもちゃの世界」という題の創作ダンスでした。

・書き初め展 1/24(土)・25日(日) 練馬区立美術館で開かれました。

出品者

1年生	平塚 旬也	檜崎 帆夏	笹木 愛実	三宅 真世
2年生	方 青麗	堀 愛理	宮島 恵子	吉川 三永
3年生	久保 克騎	山田 夏美	北村 大樹	鎌田 有咲

(敬称省略)

《部活動の活躍》

・バスケットボール部男子 (豊玉第二中学校との合同チーム)  
豊玉カップ 2位  
攻玉社カップ 3位

《これからの行事》

- ・2月14日(土) 情報モラル講習会(2年生)
- ・2月16日(月) 新入生保護者対象 学校説明会 14:30～
- ・2月24日(火) 都立高校一般検査日
- ・2月25日(水)～27日(金) 定期考査IV
- ・2月24日(火)～27日(金) D組スキー移動教室  
ベルデ軽井沢 佐久パラダスキー場